

平成26年12月18日
石川県健康福祉部健康推進課
課長 相川 広一
電話 076-225-1435(直通) 内線 4130

石川県感染症発生動向調査におけるインフルエンザの流行状況について

石川県感染症発生動向調査（48定点医療機関）によるインフルエンザ患者の定点当たりの報告数が、平成26年第50週（平成26年12月8日～平成26年12月14日）で1.67人（48定点医療機関、報告数80人）となり、インフルエンザの流行シーズンに入りました（昨年より2週早い流行入り）。

* 流行開始の目安である定点あたり1人を超えたため
報道機関各位には、県民への注意喚起についてご協力をお願いいたします。

1 今期のインフルエンザの流行状況について

国によれば、今期は、季節性インフルエンザのうち、現在までにA/H3N2亜型（いわゆる香港型）の割合が最も多く検出されていますが、A/H1N1亜型、B型のいずれも流行の可能性が考えられるとされています。

流行しやすい年齢層は、インフルエンザの型によって多少異なりますが、今年も全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

2 今後の対応

(1) 注意喚起の通知を、12月18日付けで関係機関に行う。

→ 庁内関係部局、市町、医療関係機関 など

(2) 県民へ、ホームページにて注意喚起を行う。

(3) 今後の動向に基づく注意報などの発令

- ・ 注意報発令：定点医療機関1箇所あたり報告数が10人を超えた場合
- ・ 警報発令：定点医療機関1箇所あたり報告数が30人を超えた場合

3 呼びかけ内容

- ・ うがい、手洗い等の感染予防や咳エチケット等の感染拡大防止の励行
- ・ かぜ症状のある場合、救急病院ではなく、できるだけ最寄りの医療機関に受診
- ・ 重症化防止に有効なインフルエンザワクチンの予防接種勧奨

(参考)

全国の感染症発生動向調査におけるインフルエンザ患者の報告数

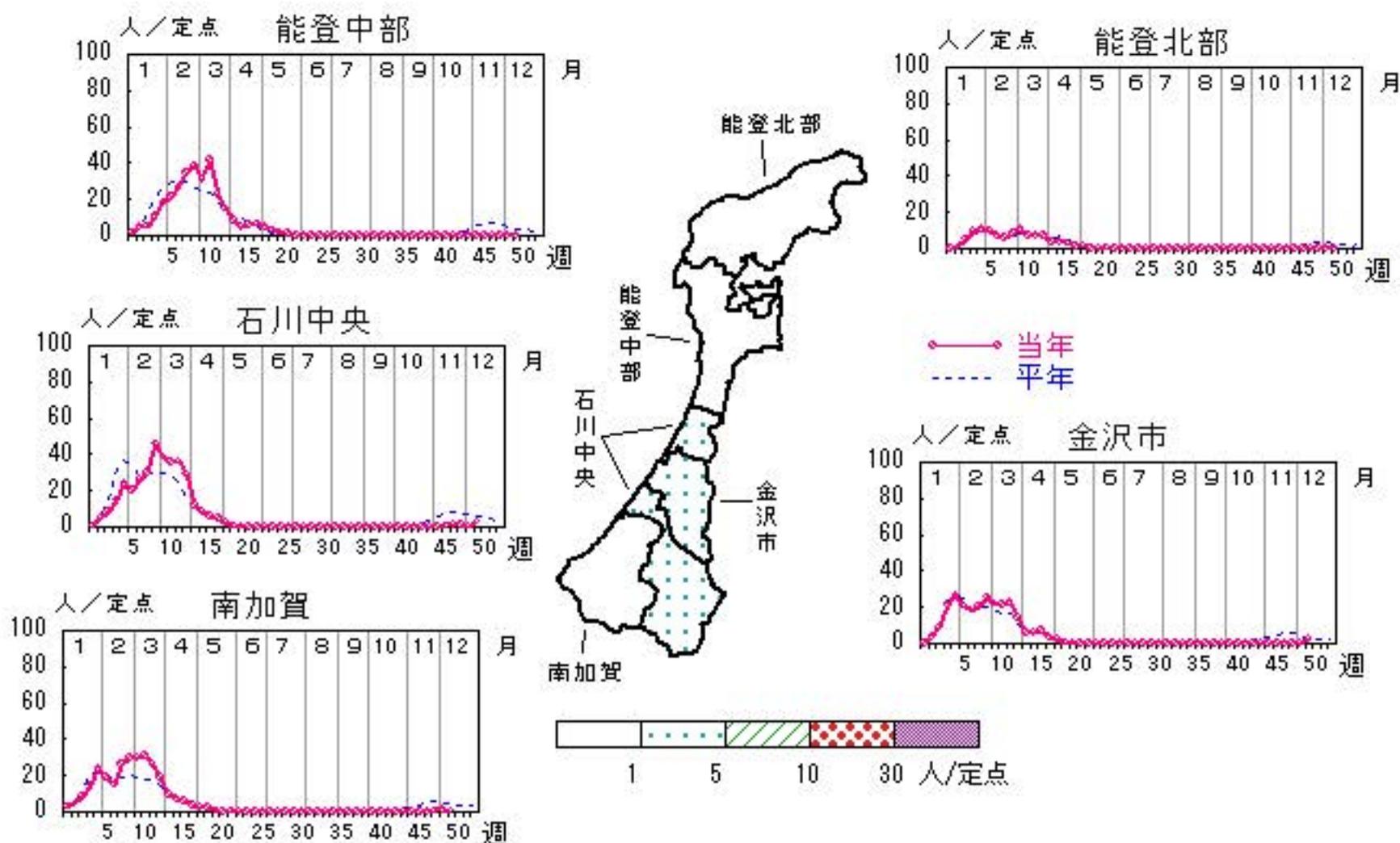
平成26年46週（平成26年11月10日～16日）	定点当たり0.37人
47週（平成26年11月17日～23日）	定点当たり0.94人
48週（平成26年11月24日～30日）	定点当たり1.90人（流行入り）
49週（平成26年12月1日～7日）	定点あたり3.49人

インフルエンザ

2014年46週～50週

上段: 定点からの患者報告数
下段: 定点あたりの患者数

	46週	47週	48週	49週	50週
石川県	8 0.17	21 0.44	25 0.52	19 0.40	80 1.67
金沢市	0 0.00	3 0.19	4 0.25	4 0.25	41 2.56
南加賀	0 0.00	2 0.20	8 0.80	9 0.90	5 0.50
石川中央	7 0.70	15 1.50	13 1.30	5 0.50	32 3.20
能登中部	1 0.14	1 0.14	0 0.00	1 0.14	2 0.29
能登北部	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00



人/定点

○ 当年(石川県) — 前年(石川県)
 × 当年(全国) - - - 平年(石川県)

